



平成 30 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 オエノンホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 西永 裕司
(コード番号 2533 東証第一部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室長
牛込 真澄 (TEL 03-3575-2777)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 30 年 2 月 9 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 12 月期 通期連結業績予想数値の修正(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 80,000	百万円 1,950	百万円 1,950	百万円 1,000	円 銭 16.55
今回修正予想(B)	76,500	1,500	1,550	400	6.62
増減額(B-A)	△3,500	△450	△400	△600	
増減率(%)	△4.4	△23.1	△20.5	△60.0	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 12 月期)	78,739	1,853	1,906	1,263	20.82

2. 修正の理由

売上高においては、北海道胆振東部地震に伴う苫小牧工場の被害により販売用アルコールならびに主力市場である北海道での売上が大きく減少していることなどに鑑み、前回予想を下回る見込みであります。

一方、営業利益、経常利益につきましても、売上高の減少による利益減少のほか、苫小牧工場の生産が停止したこともあり、前回の業績予想から減少する見込みであります。なお、当該工場の生産につきましては、今月中旬に再開する予定であります。

また、親会社株主に帰属する当期純利益においても、経常利益の減少のほか、別途お知らせしております北海道胆振東部地震関連の特別損失約 3 億円および牛久シャトーの飲食・物販事業の撤退に係る事業再編損失約 4 億円を計上することなどにより、前回予想を大きく下回る見込みであります。

なお、今回の業績予想の下方修正に至る要因は一過性のものであり、配当予想の変更はございません。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上